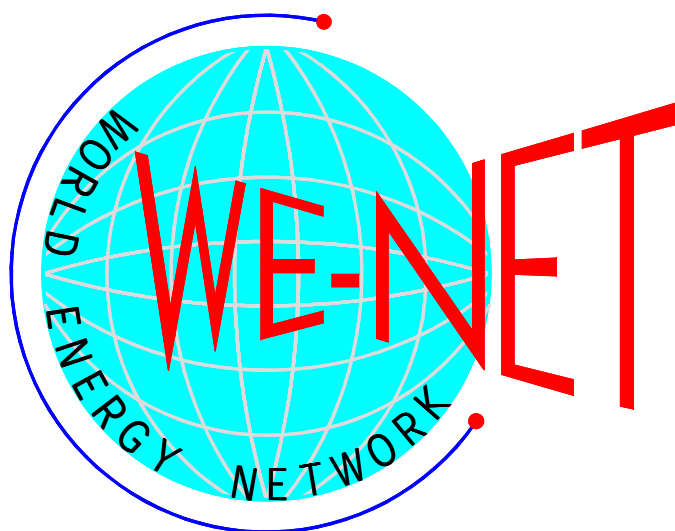


水素利用国際クリーンエネルギーシステム技術 (WE-NET)第Ⅱ期研究開発



平成14年3月

新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO

ま え が き

我が国は化石燃料の枯渇と地球環境に対する不安から、ここ20年間程の間に新エネルギーの開発を精力的に進めてきた。

その中で通商産業省工業技術院（当時、現在は経済産業省）は、平成4年にニューサンシャイン計画の一環として水素利用国際クリーンエネルギーシステム技術（WE-NET）計画を提案した。

本プロジェクトは世界的に遍在する再生可能エネルギーを利用して水から水素を製造し、これを輸送可能な媒体に変換して輸送し、エネルギー多消費地域に供給することにより、世界的な規模でエネルギーの有効利用を図ろうとするものである。

WE-NET計画が実現し、世界的に普及されれば世界の炭酸ガスの発生量が低減されると共に、国際的なエネルギー需給が緩和され、さらに再生可能エネルギー保有国に新たなエネルギー生産、輸出産業の育成を促すことにもなる。

その後、平成11年度から第一期の研究開発が開始され、ここでは前述の大規模な水素利用を念頭に置いた研究開発から、小規模分散型の利用技術開発に重点を置くことになった。さらにその後の燃料電池技術の急速な進展から平成13年度より「固体高分子形燃料電池/水素利用プログラム」の1つのプロジェクトとして進めていくことになり、現在に至っている。

本成果報告書は、平成13年度の成果を取りまとめたものである。

平成14年3月

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）